

みるく情報

No.789

令和8年

4月

ふくおか



『女性のつとめ』

組合トピックス	1～9	色色問答	13～14
MOMOステーション	10～11	投稿	15
診療所日記	12		

令和8年4月15日 印刷
令和8年4月20日 発行

■発行所
ふくおか県酪農業協同組合
福岡市博多区博多駅前4-32-18

■編集兼発行人
波多江 孝一

ふくおか県酪農業協同組合 組織再編実施

組合では、令和八年四月一日より組合の機能を本所へ一本化、支所は廃止し飼料倉庫とする組織再編に取り組みました。

今回の組織再編は、コロナ禍以降、組合員の離脱の進行速度が速まり、併せて生乳受託乳量の下降が止まらないことから、より効率的な組織運営と、組合員の支援体制の維持発展を目的としたものです。

組織再編に至る経過については以下の通り。

- (一) 令和四年十月 「組織再編に向けた今後の方向性」についての協議開始
- (二) 令和六年九月 「組織再編の基本方針」を決定
- (三) (一) 決定後 具体的な組織再編方針素案の協議、検討、各支所運営委員会や、組合員説明会を開催し意見等の徴収
- (四) 令和七年十月 「組織再編方針」を決定
- (五) 令和七年十二月 組合員説明会開催(内容は以下

の通り)

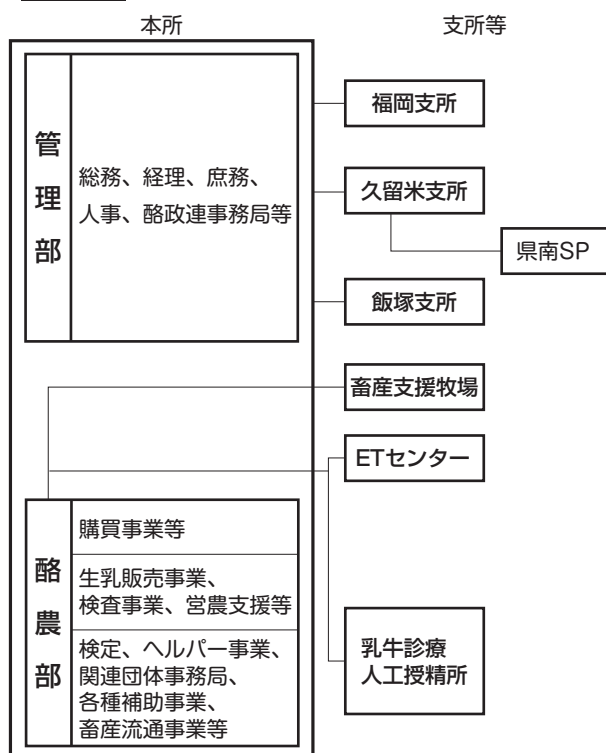
- ・令和八年四月より組合機能の本所一本化、支所はすべて飼料倉庫とし、職員は常駐せず隔日営業稼働日に職員を派遣する形態へと移行
- ・県南飼料倉庫は廃止
- ・乳牛診療人工授精所は、久留米飼料倉庫を拠点として、各地区の診療人工授精業務を行う体制等

組合はこの組織再編により、組合員が安心して酪農経営を継続出来る組織体制の維持発展のため、①酪農組織の生乳販売機能の維持、②営農支援体制の維持、③点在化する組合員の「拠り所」の維持、④組織運営経費の低減に取り組み、組合の組合員支援体制の維持発展を目指して参ります。

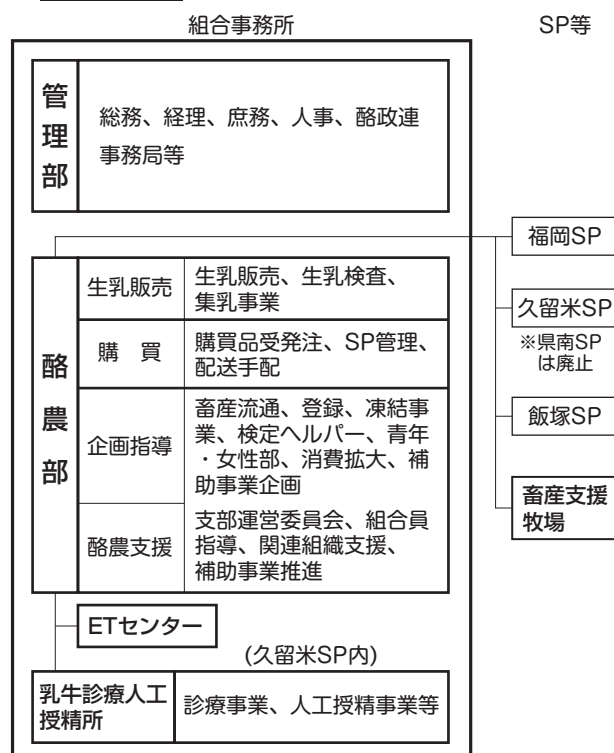
組合員皆様におかれましては、支所の飼料倉庫化等、ご不便をかけることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。とともに、関係機関の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【組合組織再編機構図】

ふくおか県酪農業協同組合 組織図
組織再編前



組織再編後
令和8年4月～



【組織再編後の職員配置及び主な業務】

○組織再編後の職員配置及び主な業務

職員配置	役職等	管理部	酪農部					
			生乳販売・購買担当	企画指導企画支援担当	企画指導酪農支援担当	畜産支援牧場	E T センター	乳牛診療人工授精所
	参事	波多江 孝一						
	部長	塩田 弘文	橋本 昌幸					
	次長等	古賀 陽子	村岡 賢治	新堀 啓子	安永 幸治 小野 賢佑	井本 光弘 (牧場長)	梶原 隆幹 (ETセンター長・ 診療所長代理) 【授精師】	遠藤 拓人 (診療所長) 【獣医師】 堤 陽子
	調査役	遠藤 直美	葭原 幸枝 宮司 博子 由布 雅子	横田 真紀 因 瑠佳	折田 沙矢香			中江 徳洋 (診療所次長) 【獣医師】 河村 信一 (診療所次長) 【授精師】
	主事・技師	龍 圭太	早川 幸佑	西村 麻由実 松岡 恵美 浦田 凌太 北野 遥名 佐藤 敬	岡野 なつみ 佐藤 璃依 藤川 綾乃 坂口 巧 中村 瑠偉	木村 哲也	有満 栄一 【獣医師】	了正 美香 【授精師】 宇土 詩織 【授精師】 横山 生 【獣医師】 藤川 歩 【授精師】 蔭野 あかり 【授精師】 吉崎 詩乃 【授精師】 田中 ゆか 【獣医師】
	嘱託職員	岩元 一恵 (主管)	下村 敏江 (主管)	石橋 正夫 (主管) 元松 泉	志岐 秀雄 (主管)		樽見 和幸 【獣医師】	富来 基寿 (相談役・診療 所次長) 【獣医師】
	パート職員			柳瀬 いづみ		森 昌博 石川 芳浩		
派遣職員		吉次 穂乃佳						
主な業務		総務、人事、経理、庶務、酪政連事務局	生乳販売、生乳検査、購買	畜産流通、血統登録、凍結精液、理解醸成消費拡大、検定、酪農ヘルパー、関連組織支援、補助事業企画	営農指導、関連組織支援、補助事業推進	乳牛の預託	診療、人工授精、受精卵移植、採卵	
(内 容)		組合員加入・脱退に関する こと 酪農共済に関する こと 貸付に関する こと	乳量、乳代に関する こと 生乳検査に関する こと 購買品注文に関する こと 飼料倉庫に関する こと	子牛、経産肉用牛、初妊牛取引に関する こと 血統登録、凍結精液に関する こと 乳製品に関する こと 検定、ヘルパーに関する こと 青年女性会議、改良協議会に関する こと 補助事業に関する こと	営農指導に関する こと 運営委員会に関する こと 各地域の関連組織に関する こと 補助事業に関する こと	預託牛に関する こと	診療、人工授精、受精卵移植、採卵に関する こと 繁殖に関する こと	
お問い合わせ先	電話番号	092-431-7861		092-431-7863			0942-47-1400	
	F A X	092-431-7868			0942-47-1407			
営業時間 8：30～17：00 (休業時間12：00～13：00) 【各飼料倉庫営業時間8：30～16：30 (休業時間12：00～13：00)】								

令和8年度 営業日カレンダー

福岡SP 8:30~16:30 (12時~13時 昼休業)

 営業日

2026	4	April	2026	5	May	2026	6	June	2026	7	July
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
			1	2	3	4		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28
							31				

久留米SP 8:30~16:30 (12時~13時 昼休業)

2026	4	April	2026	5	May	2026	6	June	2026	7	July
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
			1	2	3	4		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28
							31				

飯塚SP 8:30~16:30 (12時~13時 昼休業)

2026	4	April	2026	5	May	2026	6	June	2026	7	July
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
			1	2	3	4		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28
							31				

全酪連朝倉飼料倉庫 13:00~17:00

2026	4	April	2026	5	May	2026	6	June	2026	7	July
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
			1	2	3	4		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28
							31				

全酪連県南SP 10:00~17:00 (12時~13時 昼休業)

2026	4	April	2026	5	May	2026	6	June	2026	7	July
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
			1	2	3	4		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28
							31				

令和八年度生乳需給安定化 対策実施規程を決定

三月三十日の理事会において、令和八年度生乳需給安定化対策実施規程が決定しました。

令和七年度の組合の生乳生産は、生乳出荷戸数一三四戸、組合員積み上げ方式により組合員の生乳出荷目標数量五七、八〇七ト（前年出荷実績比一〇〇％）でスタートしました。

しかしながら、ここ数年の飼料・資材価格等の高止まりなどの先行き不透明な状況が続いていたこともあり、生乳生産実績は五六、五七九ト（前年出荷実績比九七・九％）と前年を下回りました。

一方、全国の飲用需要は、価格改定から一巡することもあり、ほぼ前年並みで推移する見通しとなっていますが、地域的・季節的な需給のアンバランスが生じており、予測以上の需要減

退や地域的な需給ひっ迫も想定されます。乳製品については、生乳生産量の減少が見込まれており、乳製品向け処理量は減少するものの、脱脂粉乳の需要は引き続き低調で、在庫対策を講じない場合には年度末在庫量が増加するのではと想定されています。

そのため九州生乳販連では、生乳需給が不透明な見通しであることを踏まえ、中期的な対策は設定せず、令和八年度は単年度での需給安定化対策として取り組むこととされています。

このことから、組合では、組合員の計画的な生乳生産及び維持的な経営安定に資するため「生産者積み上げ型」の生乳需給対策の規程とし、供給責任の明確化と目標数量達成を目的とした規程とします。令和八年度

の組合の規程の概要については以下のとおりです。

一、「生乳委託契約数量」

組合員は、令和八年度委託計画等に係る確認事項と合わせて、令和八年度生乳委託計画数量を組合へ提出。

二、生乳出荷目標数量

組合員は、生乳委託計画数量及び令和八年度の分娩頭数等を勘案し、年間の月別生乳出荷計画書を作成して、組合へ報告（五月）

三、出荷目標数量の変更

個人別の出荷目標数量の変更は、八月・一月理事会で実施。

九月に取り纏めた数量を修正目標数量、令和九年一月に取り纏めた数量を最終目標数量とする。

四、生乳出荷目標数量の達成方法

中長期的な観点から生産基盤を維持するための取り組みについては、補助事業等を活用し生乳出荷目標数量の達成に取り組む。

五、季節別乳価及び差額金の

精算

令和八年度より季節別乳価は、調整率から調整単価に改定、調整単価支払の差額金は、六月・十一月の受託乳量をもとに年度末に精算する。

（令和八年度季節別調整単価）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調整単価（円/kg）	-7.5	-7.5	0	13.0	13.0	18.5	6.5	0	-8.5	-8.5	-8.5	-8.5

六、その他

九州生乳販連が定める生産者乳価対策実施要領に基づき、生産者乳価対策資金（四十銭）を拠出し、生乳需給安定化対策（脱脂粉乳在庫対策）、理解醸成及び消費拡大対策に取り組む。

乳質改善対策委員長会・ 乳質改善参与会・ 乳質改善協議会開催

消費者から信頼される生乳の生産を目指し、令和八年度の乳質改善推進対策について、三月六日に各支所の乳質改善対策委員長・副委員長による乳質改善対策委員長会、三月十八日には、福岡県や乳業者等の実務者による乳質改善参与会を開催、三月三十日には、乳質改善協議会を県の関係機関、乳業者等に参加頂き、令和八年度の乳質改善対策を決定いたしました。

令和八年度も乳質自主規制の変更はせず、ポジティブリストに関する記帳・記録・保管の徹底による生乳の安全・安心の取り組み、牛舎環境・飼養管理改善、

ゲノム解析を利用した乳牛改良の推進、バルク等の点検推進、家畜伝染病の予防強化等を実施していきます。

家畜伝染病発生予防のためのワクチン接種、幼虫・成虫対策（IGR製剤、殺虫剤散布など）、適正な動物用医薬品の使用、休薬期間の厳守・検査・記帳、農薬の適正使用・記録、洗剤の適正使用、記録等により自らで生乳の安全・安心な生乳を生産出来るようにお願いいたします。

福岡県乳牛改良協議会 研修会開催

去る二月三日、福岡県乳牛改良協議会（中村 毅会長）が、ふくおか県酪本所会議室において、共進会出品技術向上の為の研修会を開催し、当日は二十一名の参加がありました。

講師には北海道陸別町で酪農を営まれている編田尚弘氏をお招きし、「共進会牛の飼養管理と出品技術について」と題して講演頂きました。

講演では、編田氏が北海道ホルスタイン農協と共同で出版されたテキスト（s h o w m a n s h i p）や、牧場で撮影された動画等を用いて、育成牛の飼養管理から共進会直前の準備まで

のポイントについてお話いただきました。

また、最後には昨年十月に開催された全共の、福岡県代表牛に対する総評があり、改善ポイントの解説がなされ、参加者は熱心に話に聞き入っていました。



第三十五回 福岡県酪農女性の集い開催

二月三日(火)、第三十五

回酪農女性の集いを開催し、約五十名が参加しました。

今回はONE FUKUOKA HOTELにて会食とお笑い芸人町田隼人さんのお笑いステージショーを鑑賞しました。

ステージショーは、町田さんが育てている野菜についてのクイズを出題し、正解者には野菜セットのプレゼントと写真撮影を行い盛大に盛り上がりました。また、ウクレレの演奏もあり最後まで楽しめる素晴らしいショーでした。

日頃から「福岡の酪農」を支えてくれている女性の皆さん、明日からの英気を養って

いただけたでしょうか？

来年度も皆さまのご参加をお待ちしております♪



▲写真
公演中（町田隼人さん）の様子

フードバンク福岡へ 九州生まれの牛乳(ＬＬ牛乳)を 無償提供しました

組合では二月十六日に社会貢献活動の一環として、「フードバンク福岡」(福岡市城南区堤)へ九州生まれの牛乳(ＬＬ牛乳)を無償提供しました。

この取り組みは、九州生乳販連が事業を活用して音頭を取り、九州各県の酪農団体が連携して行ったもので、牛乳は、九州産の生乳を使用した「九州生まれの牛乳」(ＬＬ牛乳)を用いました。酪農家も苦しい状況にはあるものの、「お互い様」の気持ちを忘れず、新鮮な九州産の牛乳を飲んで元気になろうとの想いを込めて贈呈させていただきました。

フードバンク福岡の担当者「生活に困っておられ



る方は思いのほか多く、牛乳という、栄養価が高くおいしい生鮮食料品は、非常にありがたい。有意義に配布させていただきます。」と喜ばれました。フードバンク福岡を通じて福岡県各地に配布されます。

「ふくおかあまおう」 マルシェ

二月十四日(土)、十五日(日)に、天神中央公園貴賓館前広場にて「ふくおかあまおうマルシェ」が開催されました。本組合も参加し、県酪オリジナル乳製品や牛乳・ヨーグルト・ソフトクリームの販売を行いました。海外からの来場者も多く、広く福岡県産の牛乳・乳製品の美味しさや魅力をPRすることができました。



J A福岡市東部 組合員ふれあい感謝祭

二月十四日(土)メモリードホール葵福岡にて「J A福岡市東部 組合員ふれあい感謝祭」が開催され、初めて本組合からも参加しました。県酪オリジナル乳製品や牛乳・ヨーグルトの販売やバター作り体験を行い、牛乳・乳製品の普及に向けアピールする事ができました。



「HAKATA Milk Park」

例年、春休み期間は学校給食がないため牛乳の消費が落ち込んでしまっています。そこで当組合では、地域の皆さんに牛乳の魅力を知ってもらうことを目的として、三月二十日(金・祝)にふくおか県酪本所にて「HAKATA Milk Park」を開催いたしました。

搾乳・バターづくり体験、牛乳やソフトクリーム・乳製品などの販売、ミルク射的やモーモーすくいなどのイベントを行い、朝から夕方まで絶えず多くのお客さまに来場いただきました。特に子ども連れの家族で来場されるお客さまがとても多く、子どもから大人まで幅広い世代への消費拡大にもつながったと思います。

また、酪農家さんの取り組みや牛乳が出来るまでをテーマにパネル展やクイズラリーも実施し、酪農や牛乳に対する理解醸成も行うことができました。





頑張る

未来の

酪農家紹介

福岡地区 長渡牧場 長渡雄一郎氏

・プロフィール紹介

県酪のヘルパーとして勤務していましたが、動物が好きで、自分の牧場を持ちたいと考え新規就農し、もう五年目になります。従業員は自分含め、四名です。飼料柵付け面積はイタリアンとひいで一・五ha。飼料はスーダン、WCS、ルーサン、バーレーイを使用。イタリアンは外部からも購入しています。

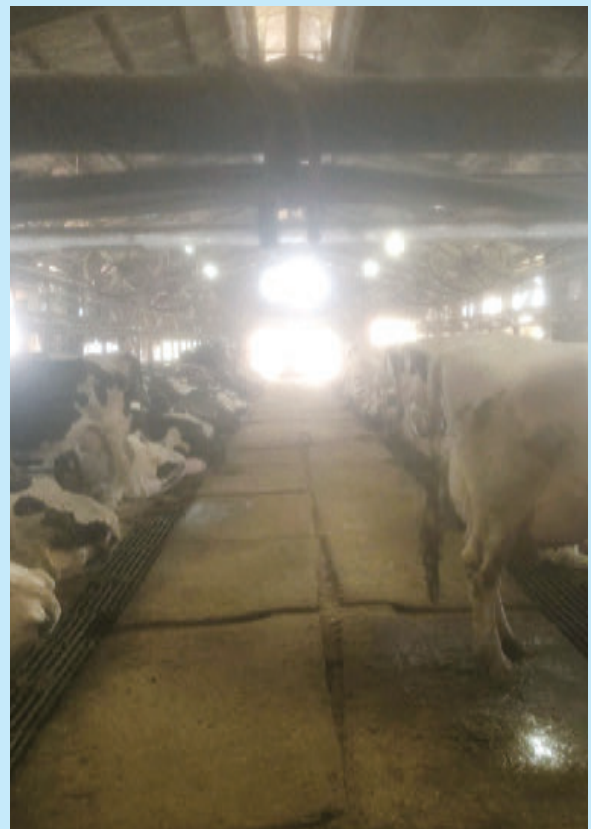
飼料代の高まりが続き、子牛価格は高いものの、乳代だけでは厳しい状況ですが今後頑張っていきたいと考えています。

・現在の飼養頭数

経産牛三十七頭、育成牛十頭、哺育牛八頭。

・現状の課題と今後の展望

儲かりたいと考えています 笑 今後は機械を更新し、目指す所は見本となるような酪農家になりたいと考えています。その方にアドバイスを頂いています。



★ その他



一月十六日(金)、筑紫野市の筑紫野スポーツプラザにて、ふくおか県酪農青年女性会議主催のスポーツ交流会(ボーリング)を開催致しました。
十四名の酪友が集い、盛り上がったゲームが行われ楽しい一日となりました。参加の皆様お疲れ様でした！
★結果は次のとおりです★

★優勝 久留米青年チーム



優勝…久留米青年チーム
準優勝…糸島酪農青年・西福岡女性チーム
三位…朝倉青年チーム

★3位 朝倉青年チーム



★準優勝 糸島酪農青年・西福岡女性チーム



令和七年度 ふくおか県酪農青年女性会議スポーツ交流会

第三十九回 ふくおか県酪農 青年女性酪農発表大会開催

去る二月九日(月)、筑紫

ただきました。

野市生涯学習センターにて
ふくおか県酪農青年女性会
議主催「第三十九回ふくお
か県酪農青年女性酪農発表
大会」が開催されました。

トウモロコシ、ソルガム・
スーダングラス、イタリ
アライグラス、イネWCS
の栽培のポイントや最近の
動向などについて、とても
分かりやすく有益なお話を
いただきました。

今回は、酪農経営発表に
飯塚支所の江藤健太郎氏よ
り「地域に根差し足腰の強
い酪農経営を目指して」
オール購入飼料からの脱却
」と題して、発表してい
ただきました。



▲経営発表
江藤健太郎氏



▲講演
久保園弘氏

その後、全酪連 購買生
産指導部 酪農生産指導室
技術顧問 久保園弘氏より
「自給飼料でコスト低減」良
質多収のための栽培技術の
見直し」と題して講演い

第五十三回 「九州酪農青年女性 酪農発表大会」開催

去る三月十一日(水) 宮崎

県の「ニューウェルシテイ

『家族の絆く動き出した私た
ちの酪農経営』

宮崎」において、九州酪農
青年女性会議主催の『第五
十三回九州酪農青年女性酪
農発表大会』が開催されま
した。

惜しくも、福岡県からの
全国大会出場となりません
でしたが、甲乙つけがたい
素晴らしい発表でした。江
藤さんお疲れさまでした！

ふくおか県酪農青年女性
会議からは、酪農経営発表
の部に飯塚支所の江藤健太
郎さんが発表されました。

最優秀賞を獲得されたの
は以下のお二人です。

経営発表の部

宮崎県 福岡 寛行氏

『リフレッシュしながら黒字
経営を目指す』

酪農意見・体験発表の部

鹿児島県 横山 さとみ氏



診療所日記

母として、授精師として。10年目の現場から

乳牛診療人工授精所 人工授精師 宇戸 詩織

早いもので、この4月で人工授精師として10年目の春を迎えました。新人の頃、服を泥だらけにして皆さんの牛舎を回っていた日々がつい昨日のここのように思い出されます。

現在は、仕事の傍ら子育てにも奮闘する毎日です。現場での仕事と家庭の両立は楽なことばかりではありませんが、子供の成長に力をもらいながら1頭1頭の牛たちと向き合っています。

「命を育む」という点では、子育ても酪農も通じるところがあると感じる今日この頃。酪農家の皆様が我が子のように大切に牛を育てている想いに、以前にも増して深く共感できるようになりました。

さて、4月は環境の変化や寒暖差が激しい時期です。特にこの時期の牛たちはストレスを感じやすく、微弱発情を見逃しがちになります。湿気がこもらないよう風の通り道を確認したり、サイレージや乾草のカビなども注意してみてください。皆様の大切な財産である牛たちが、健やかに次の命を繋いでいけるよう、10年目の節目も変わらぬ情熱でサポートさせていただきます。

まだまだ至らぬ点もありますが、これからも地域の酪農を支えるパートナーとして、皆様と共に歩んでいければ幸いです。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

これからの暑熱対策

乳牛診療人工授精所 人工授精師 藤川 歩

三月も終わり春の日差しも暖かくなってきたことと思います。

去年の9月から復帰させていただき、私が授精させていただいた牛の受胎をそれなりに確認できており、ひとまず安心しております。

これから春が過ぎるとすぐに暑い夏が来ますので早めの暑熱対策が肝心になってきます。ミストやソーキングも大事ではありますが、それと同じくらい換気も重要です。

牛には汗腺が少なく、人間のように汗をかいて体温を下げることができないため、蒸し暑い環境では体温調節ができず、湿度が高すぎると夏バテや乳房炎の原因になることもあります。そのため、湿度が70%以上を超える場合は風通しを良くすることや、扇風機などでの換気を優先してあげることで、牛もいくらか過ごしやすくなるかと思います。

ここ数年どんどん暑くなる一方で大変かと思いますが、本格的に暑くなるまでに長期不受胎牛たちを受胎させてあげられるように頑張ります。

私自身まだまだ至らぬところも多々ありますが、日々精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

▼自給飼料



▼輸入牧草



色色問答

筑紫 耕作

自給飼料の考え方

この5年間、飼料の高騰はおさまる気配がありません。これだけ長く高騰が続けば、乳牛に必要な粗飼料が輸入乾牧草の購入から自給飼料へと移っていくのもうなずけます。しかし、自給飼料はただやみくもに作れるところに作ればいいというわけにはいきません。自給飼料を作る場合は、最初に目的意識を持つことです。

まずは自給飼料と購入乾牧草のメリット・デメリットを見てみましょう。表1のとおりに自給と購入とでは、堆肥処理や機械設備の有無、価格のコントロール、労力等に違いがありますが、自給飼料の最大のメリットは何を目標に作るかを自分で選べるところです。購入では限られた草種と品質でしか選べませんが、自給の場合、栽培する作物にもよりますが、収量に重きをおいたり、品質に重点をおく等、その時の自分の農場の状況に合わせて作物や収量、品質をコントロールできる点が大きな違いです。

また別の視点で自給飼料と購入飼料で乳量の差を見てみます。表2は、自給の黄熟期のトウモロコシサイレージ、出穂期のイタリアンサイレージと購入のアルファルファ乾草、オーツヘイを比較し、乳量がどれくらい出るかを見たものです。それぞれが持っている正味エネルギー（カロリー）の違いがそのまま乳量の差となります。乳代をかけた後、生産コストと購入価格の差で付加価値がでます。現状の購入価格では自給飼料の付加価値が高いのは当然ですが、購入価格がたとえ今の半分になっても自給飼料の付加価値には届きません。自分で作るのに比べ、購入の場合は、たとえ現地で安く買ってもその後の輸送や手続き等でかなりの経費がかかってしまいます。自給の場合は自分の労力や資材費、近隣での手数料ですみますので、低コストで利用できるのは当然です。

現在の乳牛は、大型化して乳量も増加し、改良がますます進んでいます。乳牛の乳量変化に応じて変わってきているのが刈取時期です。米国では1頭あたりの平均乳量が年間11,000kgを超えていて、DHI（米国牛群検定）では13,000kgを超えています。米国ではこの乳量を搾るために濃厚飼料の多給では追いつかず、粗飼料にもそれ相応の栄養価が求められています。イネ科牧草は出穂前のニーハイ（膝のちょっと上の高さ）までに、トウモロコシでは黄熟後期まで待って刈り取るのが必須とされています。圃場からいかに多くのカロリーを取るかが乳牛の乳量や寿命に直結しているのが米国の現状です。一部に改良が進みすぎたとの意見もありますが、日本と同様に酪農家が減少し、限られた乳牛頭数で乳量を維持していくには、1頭あたりの乳量を上げていくしか選択肢がないのが現状のようです。我が国でも家畜の改良が進んでおり、1頭当たりの年間乳量は平均で9,000kgに届こうとしています。米国ほど自給飼料に気を遣

うまでになっていませんが、我が国でも刈取時期は、以前よりも牧草は早くなり（開花期→出穂期）、トウモロコシは遅く（乳熟期→黄熟期）なっています。高泌乳牛を飼養している農家は、特にこの傾向に気をつけて作る必要があります。

表3は、自給飼料の収量目標の変遷です。まだ数頭しか飼養していない時代は、乳量も低く青刈り利用が主流で圃場からは粗繊維を中心に取っていました。その後規模が少しずつ拡大していき、圃場からは乾物収量を取り、乾草利用が主流となります。乳牛の泌乳能力が上がってきてからは、T D Nの栄養価（乳のでる見かけの収量）を取る時代になり、現在の収穫時期やサイレージ利用になってきます。今は過渡期で圃場から乳量を取る時代にさしかかっている状況です。府県のように面積が限られている状況での自給飼料栽培には、ますます圃場から何を取るのか目的意識を明確にして自給飼料を栽培する必要があると思います。ただ草を取ればいいでは、乳量や牛の健康には反映しません。乳牛を健康に飼うことを念頭において自給飼料を作っていく、最終的にそれが乳量につながっていくとすれば言うことはありません。1頭当たりの乳量の増加で自給飼料の利用形態や刈取時期が変わってきている現状をわかっていたいただければ幸いです。

自給飼料と輸入乾牧草のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
自給飼料	・糞尿処理ができる ・価格をコントロールできる ・肥培管理等で品質コントロール可 ・面積を増やせば低コスト	・面積が少ないと償却負担が増加 ・収量・品質が天候に左右される ・機械・貯蔵設備が必要
輸入乾牧草	・手軽に利用できる ・土地・機械が要らない ・貯蔵設備が不要 ・労働しなくていい	・糞尿処理ができない ・価格が不安定 ・品質がコントロールできない ・量的確保に不安がある

粗飼料の付加価値

粗飼料名	NEL 正味泌乳エネルギー量 Mcal/kg	乾物1t当 産乳 可能性 kg	(A)想定乳代 115円/kg	(B)乾物1t当 生産コスト／購入金額 円	付加価値 (A)-(B) 円
とうもろこしサイレージ	1.45	1,959	225,285	40,885	184,400
イタリアンサイレージ	1.25	1,689	194,235	45,424	148,811
アルファルファ乾草	1.08	1,459	167,785	97,701	70,084
オーツヘイ乾草	1.03	1,392	160,080	91,954	68,126

乳量試算 NEL0.74Mcal=4%脂肪補正乳量1kgとし、乳価は115円/kgで試算

水分値は日本飼料標準よりとうもろこし73%、イタリアン65%として計算し算出。購入代金はアルファルファ85円/kg、オーツヘイ80円/kgとし、それを乾物換算。

自給飼料生産の収量目標の推移

- ・1960年代
生草収量 見かけ収量
- ・1980年代
乾物（DM）収量 ガサの収量
- ・1990年代
T D N収量 乳の出る見かけ収量
- ・現在
N E 収量 乳の出る本当の収量

【暑い夏の「もう一口」～身近な工夫でルーメンを守ろう～】

全国酪農業協同組合連合会 福岡担当 飯山寛子

前回の「水」に続き、今回は「暑熱期の採食量（DMI）確保」についてです。

暑熱対策の最優先事項は、牛の体に熱をこもらせない牛舎環境づくりです。この前提の上とはなりますが、今回は餌の視点からできる工夫を深掘りしていければと思います。

■**なぜ「一口」が大切か** 乳の約9割は水分ですが、その生成には膨大なエネルギーが必要です。暑さで採食量が落ちると、牛は身を削って乳を作ろうとし、痩せや繁殖障害を招きます。夏を越す体力を守るため、一口でも多く食べさせることが不可欠です。

■**「選り食い」を防ぐ、配食後30分のひと押し** 暑い時期の牛は、食べやすい濃厚飼料だけを拾う「選り食い」をしがちです。繊維不足は反芻（唾液）を減らし、ルーメン内を酸性に傾けアシドーシスのリスクを高めます。

そこでお勧めなのが、配食後20～30分以内の「1回目」の餌押しです。牛は一定量を食べると満足して座り込みますが、一度座ると立たせるのは容易ではありません。座る「前」にサッと寄せ、さらにもう一口を誘いましょう。人の手が触れた餌は新鮮に見え、食欲スイッチを刺激します。（牧場訪問の昼時に牛舎を訪れた際も、軽く押すだけで牛たちが寄ってくることがあります。）

■**「涼しい時間」の有効活用** 牛も人間と同じで、暑い日中は食欲が落ち、夜間や早朝に食が進みます。日中の給与量は控えめにし、その分を涼しい時間帯に振り分けることで、1日の総採食量を底上げしましょう。（完食できているのなら、涼しい時間を利用してさらに増給してみるのもあり！）

■**重曹と電解質でルーメン環境を「お助け」！** 暑さで反芻が減ると、唾液（中和成分を含む）の分泌が減り、ルーメン内の酸を中和できなくなります。「便がゆるい」「乳脂肪が落ちた」と感じたら、重曹を給与して調整を手助けしてあげましょう。（マグネシウム併用でより高い効果が期待できます！）。また、夏は汗と共にナトリウムやカリウムなどの陽イオンミネラルが流出し、体全体が酸性に傾きます（代謝性アシドーシス）。そのため、これらのミネラル源（塩、電解質、粗飼料…）の給与もとても大切です。

■**まずは「今すぐできること」から** 今回はひと手間の「餌押し」と、重曹・ミネラル給与を紹介しました。こちら以外にも、代謝を助けるナイアシン（別紙広告の「ナイアクールZ」など。ご興味のある方は、まずは一言お声がけください。）の活用も有効ですが、まずは身近な工夫から見直してみませんか？

冒頭に触れたように、暑熱対策において最優先は牛舎環境の充実です。餌以外にも「こんな暑熱対策の設備はどうなの？」などなどお声がけいただければ、一緒に考えて参ります💡今年の夏も一緒に乗り切っていきましょう！

I. 採用(令和8年2月1日付)

氏名	新所属(職階級)		適用
佐藤 璃依	主事	酪農部	

II. 採用(令和8年3月1日付)

氏名	新所属(職階級)		適用
佐藤 敬	主事	酪農部	

III. 退職(令和8年3月31日付)

氏名	適用	旧所属(職階級)
下村 敏江	定年退職	酪農部 次長(購買担当)
梶田 和弘	嘱託契約満了	酪農部 主管
山本 好光	嘱託契約満了	飯塚支所 主管
田代 一樹	嘱託契約満了	福岡支所
堤 美雪	嘱託契約満了	久留米支所 県南飼料倉庫
古賀 清照	嘱託契約満了	乳牛診療人工授精所

IV. 異動等(令和8年4月1日付)

氏名	新所属・職階級		旧所属・職階級	
堤 陽子	考查役(昇)	酪農部 次長(乳牛診療人工授精所担当)	調査役	乳牛診療人工授精所
古賀 陽子	考查役(昇)	管理部 次長	調査役	久留米支所
新堀 啓子	考查役	酪農部 次長(企画指導企画支援担当)	考查役	福岡支所 支所長
安永 幸治	考查役	酪農部 次長(企画指導酪農支援担当)	考查役	飯塚支所 支所長
小野 賢佑	考查役	酪農部 次長(企画指導酪農支援担当)	考查役	久留米支所 支所長
村岡 賢治	考查役	酪農部 次長(生乳販売購買担当)	考查役	酪農部 次長(生産指導担当)兼広域専任指導員
葭原 幸枝	調査役	酪農部 生乳販売購買担当	調査役	酪農部
横田 真紀	調査役(昇)	酪農部 企画指導企画支援担当	主事	酪農部
宮司 博子	調査役	酪農部 生乳販売購買担当	調査役	福岡支所
由布 雅子	調査役(昇)	酪農部 生乳販売購買担当	主事	酪農部
遠藤 直美	調査役(昇)	管理部	主事	管理部
折田 沙矢香	調査役(昇)	酪農部 企画指導酪農支援担当	主事	久留米支所
因 瑠佳	調査役(昇)	酪農部 企画指導企画支援担当	主事	管理部
早川 幸佑	主事	酪農部	主事	福岡支所
松岡 恵美	主事	酪農部	主事	飯塚支所
浦田 凌太	主事	酪農部	主事	久留米支所
関 健	嘱託	乳牛診療人工授精所(獣医師)	嘱託	酪農部(獣医師)
志岐 秀雄	嘱託	酪農部 主管	嘱託	酪農部 次長(広域専任指導員)
石橋 正夫	嘱託	酪農部 主管	嘱託	久留米支所 主管
元松 泉	嘱託	酪農部	嘱託	飯塚支所
下村 敏江	嘱託	酪農部 主管 ※定年再雇用	考查役	酪農部 次長(購買担当)

V. 採用 (令和8年4月1日付)

氏名	新所属(職階級)		適用
田中 ゆか	技師	乳牛診療人工授精所	獣医師

■新入職員自己紹介



岡野 なつみ

昨年八月に入組いたしました、酪農部の岡野なつみと申します。前職は群馬県で酪農家さんのもとで勤務しておりました。現場での経験を活かしながら、組合員の皆さまのお気持ちに寄り添った対応ができるよう心がけていきたいと思っております。事務業務はまだ勉強中ですが、日々学びながら二日も早くお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤 璃依

今年二月に入組いたしました、酪農部の佐藤璃依と申します。福岡出身で、大学時代は北海道で農畜産業について学びました。しかし酪農関係の仕事に携わった経験がないため、これから勉強させていただくことになりましたが、酪農家の皆様のお役に立てるよう日々精進いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



佐藤 敬

今年三月に入組いたしました酪農部の佐藤敬（さとう けい）と申します。前職では広告業界で営業職をしており、前々職では東京でまた別業界にて働いておりました。酪農業に関わるのは始めてになりましたが、組合員の皆様や先輩職員の方々から多くのことを吸収して二日でも早く組合の力となれるよう精進してまいります。至らぬ点多々あるかと思いますが、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



吉崎 詩乃

三月一日より乳牛診療人工授精所に配属になりました、人工授精師の吉崎詩乃（よしざき しの）と申します。出身は福岡県宗像市です。高校、農業大学校で酪農・畜産について学び、前職では北海道で酪農ヘルパー、岡山県の育成牧場で仔牛の哺乳、育成を担当しておりました。

この度は地元福岡の酪農・畜産業に携わることができ、とても嬉しく思っています。至らない点が多々あるかとは思いますが、福岡の酪農・畜産業を支える人間の一人として尽力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

俳句・川柳コーナー

「牛さんは
春到来で

「牛ふん
乳を出す」

大地へ還す
贈り物」

新生ライオン



酪農共済給付金のご請求、忘れていませんか??

ちょっとしたケガで病院に行ったことはありませんか？
事故や病気にあわれたらお気軽にご相談ください。
また、「ハイメディカルスーパー」ご加入者については、白内障手術や大腸ポリープ切除手術等、**病気日帰り手術の見舞金一律1万円給付**されます。
お問い合わせは組合まで。



例	病気で入院や手術をした	ケガで通院や入院・手術をした